

◇第1日目(7月30日 土曜日)

於：拓殖大学文京キャンパスE館6階

【受付】8：30～(E館1階学生ラウンジ) ※時間帯により6階へ移動する場合があります。

【開会式】9：10～9：15 (A会場・E館606教室)

当学会会長・大会実行委員長：潜道文子(拓殖大学)、総合司会：劉慶紅(立命館大学)

【午前前半の部】9：20～10：25

会場	A会場 (E館606教室)	B会場 (E館607教室)	C会場 (E館608教室)
司会	村山元理 (駒澤大学)	文載皓 (常葉大学)	劉慶紅 (立命館大学)
9:20-9:50	研究発表1 パース企業としての良品計画 横沢泰志(学生・拓殖大学大学院)	研究発表3 英国におけるCIC登録数増加に伴うインパクトの評価に関する一考察 太細譲士(学生・法政大学大学院)	研究発表5 利益分配から人権へのリスク回避へ: シエラレオネ農村部のケースより 井上直美(学生・東京外国語大学大学院)
9:55-10:25	研究発表2 企業のパース論と日本企業による実践 佐々木恭子(学生・モナシユ大学大学院)	研究発表4 社会的企業のマネジメントと組織成果に関する考察 横山恵子(関西大学) 後藤祐一(尾道市立大学)	研究発表6 医薬品の最終使用者である患者との交流が製薬企業社員の行動と意欲に及ぼす影響の検討 栗本路(サノフィ株式会社)

【午前後半の部】10：30～11：35

会場	A会場 (E館606教室)	B会場 (E館607教室)	C会場 (E館608教室)
司会	水村典弘 (埼玉大学)	村山元理 (駒澤大学)	葉山彩蘭 (淑徳大学)
10:30-11:00	研究発表7 中小製造業における経営理念浸透に関する実態調査 絹村信俊(宮城大学)	研究発表9 公益通報制度の現状と今後への提言 河口洋徳(中央大学政策文化総合研究所・客員研究員)	研究発表11 Decision Making of Social Impact Investment in Early Ventures and Characteristics of Investees - Through Case Studies Shinya Takata (Waseda University) Takahiro Ohno (Waseda University) Kenji Minefuji (Mitsubishi Electric Corporation)
11:05-11:35	研究発表8 経営理念に表れる日本企業の徳-テキストマイニングを用いて- 杉本俊介(慶應義塾大学)	研究発表10 事業構想と経営倫理のあり方 三木政英(学生・事業構想大学院大学) 中西麻由子(学生・事業構想大学院大学) 竹安聡(事業構想大学院大学) 松江英夫(事業構想大学院大学) 八代華代子(事業構想大学院大学)	研究発表12 東証再編の際にプライム市場を選択した企業とスタンダード市場を選択した企業の属性の比較分析 佐藤円裕(ブルームバーグ・エル・ピー)

【ランチタイム】 11：35～12：35

【2022年度表彰式】 12：35～12：50 (E館1階記念講堂)

【統一論題シンポジウム】 13：00～17：40 (E館1階記念講堂)

「経営倫理30年の歴史と展望ーグローバル時代の理論と実践ー」

13:00-13:05	【挨拶】開催校学長あいさつ
13:05-13:10	【挨拶】総合司会：劉慶紅(当学会常任理事・立命館大学教授)
13:10-13:55	【第1講演】高巖氏(明治大学経営学部 特任教授) 「経営倫理30年の歴史と展望」
13:55-14:40	【第2講演】梅津光弘氏(慶應義塾大学商学部 教授) 「経営倫理学の時代:通奏低音としての倫理学」
14:40-14:50	休憩
14:50-15:35	【第3講演】渡辺奈々美氏(ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー コミュニケーション&パブリックアフェアーズディレクター) "Our Credo: 75 years of Purpose Driven Leadership"
15:35-16:20	【第4講演】畑中晴雄氏(花王株式会社 ESG部門 ESG戦略部 ESG戦略スペシャリスト) 「Kirei Lifestyle Plan 花王のESG戦略と具体的取組」
16:20-16:35	休憩
16:35-17:35	【パネルディスカッション】 ◆パネリスト◆ 高巖氏、梅津光弘氏、渡辺奈々美氏、畑中晴雄氏 ◆モデレーター◆ 高浦康有(当学会常任理事・東北大学経済学部 准教授)
17:35-17:40	閉会の辞(総合司会・大会実行委員長)

ご質問・コメントはこちらまで
(参加者全員に共有されます)
☞ <https://www.slido.com/jp>
から会場で指定するアクセスコードを入力

【交流会(名刺交換会)】 17：40～18：10 (E館1階記念講堂)

◇第2日目(7月31日 日曜日)

於：拓殖大学文京キャンパスE館6階

【受付】8：30～(E館1階学生ラウンジ) ※時間帯により6階へ移動する場合があります。

【午前前半の部】9：00～10：40

会場	A会場 (E館606教室)	B会場 (E館607教室)	C会場 (E館608教室)
司会	井上泉(株式会社ジャパンリスクソリューション)	杉本俊介(慶應義塾大学)	斎藤悦子(お茶の水女子大学)
9:00-9:30	研究発表13 なぜ不正不祥事はなくならないか：心の負 因子に注目 秋山隆英(北カリフォルニアジャパンソサイ ティ)	研究発表16 加害企業と被害者の応答責任をめぐる試論 —ブランドムの相互承認論を用いたJR福知 山線事故の共同検証の検討— 西本優樹(学生・北海道大学大学院)	研究発表19 非生え抜きの女性役員に関する一考察 杉山佳子(博士研究員・東北大学大学院)
9:35-10:05	研究発表14 日本企業における品質不正問題の発生要 因—日産自動車の排出ガス検査不正の事 例分析— 山口久瑠実(学生・北海道大学大学院)	研究発表17 製品表現と広告等表示の倫理 水村典弘(埼玉大学大学院)	研究発表20 取締役会の構成が温室効果ガス排出量削減 に与える影響に関する一考察 林順一(青山学院大学国際マネジメント学術 フロンティアセンター)
10:10-10:40	研究発表15 検査不正の原因分析と規範意識の観点か らの不正防止対策について 増淵隆史(金沢工業大学)	研究発表18 企業組織における相互監視と集団規範の関 係性について 丁子基彦(学生・神戸大学大学院) 澤田雄介(同志社大学)	研究発表21 サステナビリティ経営をめぐる用語の整理～系統 的文献レビューを通じて～ 石田満恵(横浜国立大学)

【午前後半の部】10：45～12：25

会場	A会場 (E館606教室)	B会場 (E館607教室)	C会場 (E館608教室)
司会	岡部幸徳(帝京平成大学)	高田一樹(南山大学)	浜辺陽一郎(青山学院大学)
10:45-11:15	研究発表22 日本の非営利組織における不正の探索的 研究 小室達章(金城学院大学) 高浦康有(東北大学)	研究発表25 地域クラスターを考慮したCSVアライアンス構 築のためのCSV促進理論モデルの提案 白沢直人(学生・東京理科大学大学院) 徐維那(東京理科大学)	研究発表28 韓国企業のテレワークと経営倫理 文載皓(常葉大学)
11:20-11:50	研究発表23 ステークホルダーアプローチに基づく組織学習 プロセスの検討—個人データを巡る課題と Googleの対応を通して— 藤原達也(千葉経済大学)	研究発表26 脱炭素社会実現に向けた機関投資家への 期待 中嶋康雄(本学会ガバナンス研究部会)	研究発表29 働きやすく働きたいのある充実した医療組織の 経営責任者の意識レベルについて 堀江直人(研究生・滋慶医療科学大学大学 院)
11:55-12:25	研究発表24 AIと倫理：文献研究と今後の発展可能性 の検討 田中敬幸(高崎商科大学)	研究発表27 日本と中国における食品メーカーの環境CSR 活動と消費者の購買意欲の関係に関する研 究— —辞退により発表中止— 劉漱億(中國銀行)	研究発表30 個人の倫理性と仕事の意味深さへの影響要因 についての階層間比較 本橋潤子(産業能率大学)

【閉会式】12：30～12:40(A会場 E館606教室) 総合司会、大会実行委員長

第30回記念研究発表大会実行委員会

委員長：潜道文子(拓殖大学)

委員：河口洋徳(中央大学)

委員：村山元理(駒澤大学)

委員：斎藤悦子(お茶の水女子大学)

アドバイザー：蟻生俊夫(東京電力中央研究所)

アドバイザー：小方信幸(法政大学)

委員：葉山彩蘭(淑徳大学)

委員：劉慶紅(立命館大学)

委員：杉本俊介(慶應義塾大学)